

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 12 月 1 日

事業所名 コペルプラス 天王町 教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0		床に一部段差がありほこりが溜りやすいのでこまめに掃除を行う。
	②	職員の配置数は適切である	2	2		急遽休みが出た際の対応として皆で協力しあって健康に注意している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	2	子供が一人では開けることができないよう鍵がついてることが良い。	高低の調整できる椅子に対して常時工夫を行い環境設定に努めている。リスの部屋の構造から電気のスイッチが子供側にあるため子供がいつでも触れる状況にあることは気になるが触らせることが軽減できるよう工夫をしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2	2		レッスン開始まで母子で待つ間「お怪我の無きようお気をつけください」と保護者の方に申し入れを行う、必要に応じて職員が見守りを行っているなどの工夫をしている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	0	支援会議を設け適宜必要に応じてスタンドミーティングなどを施している。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	前年度までは公開済である。	

	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	基本的に研修は全員参加である	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	常時、保護者様やお子様のご様子を来所時から拝見し確認を行い必要であればこちらからお声掛けをさせていただいたり、職員全員で見守る工夫を行っている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0		

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	個別プログラムをチーム全員で話し合い行うことができている	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	月ごとに年中行事などを考慮、活動を行っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	0	必要に応じて粗大運動時等集団を組んでいる。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	スタンドミーティングは基、合間にも話し合いを持てるようにする。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0		

	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0		
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	全員がお子様を把握する、ということを徹底していく。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	児童発達支援管理責任者が会議には出席している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	各居住区の行政担当者様とも密に連携を取っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	2		該当なし 2
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	3		該当なし 2
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	保護者様より要望があった際は必ず行っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1	保護者様より要望があった際は必ず行っている。す	該当なし 1
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	地域療育相談センターの先生方と連携を図っている。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3		コロナ 5 類にはなったがまだまだインフルエンザを含め蔓延している状態は否めないため、今後工夫をしていく。

	㉙	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	1	児童発達管理責任者が参加している。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	支援ご見学の合間にジハツ官がお声掛けをさせていただいたり保護者様からの積極的	

					にお声掛けを頂いている。	
	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	1	3		コロナ5類にはなりましたが、まだまだ集団を組んで行う（大集団）を警戒してはおり実行には至っていないが、今後検討していきたい。
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時の丁寧な説明を心掛けている。	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	毎回、相談室においてより丁寧な説明を心掛けている。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0		
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3		
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1		
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3		
	非常時等の	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	1	
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0		

対 応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこ どもの状況を確認している	4	0		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指 示書に基づく対応がされている	0	2		該当なし 2 (食事の提供はしていない)
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有し ている	4	0		
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保す る等、適切な対応をしている	4	0		
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に事 前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達 支援計画に記載している	4	0		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。